

京都市告示第 5 1 1 号

地方公営企業法第 40 条の 2 及び京都市公営企業の業務状況公表に関する
条例に基づき,平成 31 年 4 月 1 日から令和元年 9 月 30 日までの期間におけ
る本市公営企業の業務状況を次のとおり公表します。

令和元年 12 月 27 日

京都市長 門 川 大 作

令和元年度前期京都市自動車運送事業業務状況

1 事業概況

当期一日平均旅客数は376千人となり、前年度同期に比べ9千人（2.5%）の増加となりました。

当期旅客収入は11,174百万円となり、前年度同期に比べ220百万円（2.0%）の増加となりました。

また、お客様サービス向上と増客・増収のため、以下の事業を実施しました。

- 民間の商業施設と連携した公共交通利用促進PRキャンペーンを実施
- ゴールデンウィーク期間中における市バスの臨時増発と案内サービスを実施
- 民間バス事業者や嵐電と連携し、夏休みに公共交通機関を利用して御家族でクールスポットや京都散策をお楽しみいただけるよう、保護者1人につき、小学生2人までの小児運賃が無料となる「eco(エコ)サマー」を実施
- 祇園祭期間中における市バスの臨時増発と案内サービスを実施
- びわ湖大花火大会に伴う市バスの臨時増発を実施
- 「バスの駅」南太秦（京都民医連中央病院前）の供用開始

01年度4～9月 一日平均旅客数(バス)

(単位:千人)

	30年度	01年度	対前年度増減率
4月	393	414	5.3%
5月	377	370	△1.9%
6月	364	365	0.3%
7月	353	363	2.9%
8月	353	352	△0.3%
9月	363	397	9.2%
4～9月累計	367	376	2.5%

(参考) 運輸成績

〔平成31年4月 1日から
令和元年9月30日まで〕

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	-	-
営業キロ数 (km)	317.33	317.33	-	-
在籍車両数 (両)	818	818	-	-
使用車両数 (両)	135,104 (738)	135,560 (741)	△ 456 (△ 3)	△ 0.3% (△ 0.4%)
走行キロ数 (km)	16,113,960 (88,054)	16,060,885 (87,764)	53,075 (290)	0.3% (0.3%)
旅客数 (人)	68,887,949 (376,437)	67,176,185 (367,083)	1,711,764 (9,354)	2.5% (2.5%)
旅客収入 (千円)	11,174,493 (61,063)	10,954,776 (59,862)	219,717 (1,201)	2.0% (2.0%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税相当額を含む。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成31年4月 1日から
令和元年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
自動車運送事業費用	10,177,521	自動車運送事業収益	11,849,848
営業費用	10,155,271	営業収益	11,723,503
保 存 費	1,027,660	運 送 収 益	11,083,623
運 転 費	3,971,493	そ の 他	639,880
管 理 費	4,326,210	営業外収益	126,345
減 価 償 却 費	829,908	他 会 計 補 助 金	49,940
営業外費用	22,250	府 補 助 金	9,759
支 払 利 息	13,174	長 期 前 受 金 戻 入	54,127
雑 支 出	9,076	そ の 他	12,519
当期純利益	1,672,327		
合 計	11,849,848	合 計	11,849,848

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(令和元年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	23,425,682	固 定 負 債	6,947,071
有形固定資産	22,099,800	企 業 債	3,509,885
無形固定資産	40,634	引 当 金	3,437,186
建設仮勘定	84,248	流 動 負 債	2,987,114
投資その他の資産	1,201,000	企 業 債	574,528
流 動 資 産	9,881,271	未 払 金	1,341,229
現 金 預 金	183,060	預 り 金	185,642
未 収 金	1,333,388	前 受 金	795,868
貯 蔵 品	43,045	仮 受 金	89,847
貸 付 金	7,700,000	繰 延 収 益	1,827,115
前 払 金	154,885	長 期 前 受 金	1,827,115
仮 払 金	332,893	資 本 金	9,885,548
その他流動資産	134,000	資 本 金	9,885,548
		剰 余 金	11,660,105
		資 本 剰 余 金	753,577
		利 益 剰 余 金	10,906,528
合 計	33,306,953	合 計	33,306,953

備 考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、307億5,857万円です。

2 長期前受金収益化累計額は、62億4,048万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	4,657,798	0	573,385	4,084,413
合 計	4,657,798	0	573,385	4,084,413

令和元年度前期京都市高速鉄道事業業務状況

1 事業概況

当期一日平均旅客数は415千人となり、前年度同期に比べ1万8千人（4.5%）の増加となりました。

当期旅客収入は14,395百万円となり、前年度同期に比べ501百万円（3.6%）の増加となりました。

また、お客様サービス向上と増客・増収のため、以下の事業を実施しました。

- 民間の商業施設と連携した公共交通利用促進PRキャンペーンを実施
- ゴールデンウィーク期間中における地下鉄の臨時増発と案内サービスを実施
- 「地下鉄の日」記念イベントを実施
- 祇園祭期間中における地下鉄の臨時増発と案内サービスを実施
- びわ湖大花火大会に伴う地下鉄の臨時増発を実施

01年度4～9月 一日平均旅客数(地下鉄)

(単位:千人)

	30年度	01年度	対前年度増減率
4月	403	421	4.5%
5月	410	423	3.1%
6月	409	418	2.3%
7月	398	415	4.3%
8月	378	393	3.8%
9月	387	422	9.0%
4～9月累計	397	415	4.5%

(参考) 運輸成績

〔 平成31年4月 1日から
令和元年9月30日まで 〕

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	-	-
営業キロ数 (km)	31.2	31.2	-	-
在籍車両数 (両)	222	222	-	-
使用車両数 (両)	44,184 (241)	44,286 (242)	△ 102 (△ 1)	△ 0.2% (△ 0.4%)
走行キロ数 (km)	10,605,051 (57,951)	10,605,804 (57,955)	△ 753 (△ 4)	△ 0.0% (△ 0.0%)
旅客数 (人)	75,975,997 (415,169)	72,729,596 (397,429)	3,246,401 (17,740)	4.5% (4.5%)
旅客収入 (千円)	14,394,599 (78,659)	13,893,975 (75,923)	500,624 (2,736)	3.6% (3.6%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の()内は、1日平均の数值である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税相当額を含む。

2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

平成31年 4月 1日から
(令和元年 9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
高速鉄道事業費用	14,183,887	高速鉄道事業収益	18,186,250
営業費用	11,758,892	営業収益	15,751,375
保存費	1,835,058	運輸収益	14,358,711
運転費	1,112,173	その他	1,392,664
運輸費	1,884,331	営業外収益	2,434,875
管理費	561,422	他会計補助金	879,421
減価償却費	6,365,908	府補助金	17,127
営業外費用	2,424,995	長期前受金戻入	1,528,861
支払利息	2,423,074	雑収益	9,466
雑支出	1,921		
当期純利益	4,002,363		
合 計	18,186,250	合 計	18,186,250

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(令和元年9月30日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	439,300,636	固定負債	319,536,935
有形固定資産	437,315,335	企業債	278,632,133
無形固定資産	375,753	他会計借入金	26,157,210
建設仮勘定	1,553,948	府借入金	1,854,000
投資その他の資産	55,600	引当金	3,258,503
流動資産	3,187,113	その他固定負債	9,635,089
現金預金	653,271	流動負債	62,731,152
未収金	2,220,720	企業債	23,311,286
貯蔵品	1,316	他会計借入金	1,030,990
前払金	286,790	府借入金	106,725
仮払金	25,016	一時借入金	31,150,000
繰延勘定	57,560	未払金	2,769,080
企業債発行差金	57,560	預り金	493,066
		前受金	1,340,576
		仮受金	613,764
		その他流動負債	1,915,665
		繰延収益	107,626,655
		長期前受金	107,626,655
		資本金	245,366,901
		資本金	245,366,901
		剰余金(欠損金)	△ 292,716,334
		資本剰余金	8,450,178
		欠損金	△ 301,166,512
合計	442,545,309	合計	442,545,309

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,315億2,641万円です。

2 長期前受金の収益化累計額は、1,120億6,189万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債等の状況

当期における企業債等の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	132,367,253	0	6,743,397	125,623,856
特 例 債	17,078,900	912,000	672,000	17,318,900
資本費負担緩和 分 企 業 債	70,111,682	0	1,019,109	69,092,573
資本費平準化債	90,160,460	0	252,370	89,908,090
鉄道・運輸 機 構 借 入 金	13,459,646	0	1,908,892	11,550,754
長 期 借 入 金	29,767,800	0	618,875	29,148,925
合 計	352,945,741	912,000	11,214,643	342,643,098

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は311億5千万円です。

令和元年度前期京都市水道事業業務状況

1 事業の概況

当期有収水量は、前年度同期（8,276万立方メートル）に比べ60万立方メートル（0.7パーセント）減少し、8,216万立方メートルとなりました。

当期給水収益は、前年度同期（148億7,920万円）に比べ9,597万円（0.6パーセント）減少し、147億8,323万円となりました。

また、当期総収益は、171億1,927万円となり、一方、当期総費用は、137億201万円となりました。

建設改良事業について、管路では、幹線配水管布設及び布設替え（延長2.4キロメートル）、支線配水管布設及び布設替え（延長17.9キロメートル）、補助配水管布設及び布設替え（延長8.7キロメートル）等を施工しました。また、浄水場では、前年度に引き続き、新山科浄水場導水トンネル築造工事、松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池改良工事等を施工するとともに、蹴上浄水場第1最高区配水池耐震化工事、新山科浄水場2系ちんでん池改良工事等に着手しました。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成31年4月1日から令和元年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
水道事業費用	13,702,014	水道事業収益	17,119,268
営業費用	12,747,726	営業収益	15,859,429
原水費	312,346	給水収益	14,783,232
浄水費	1,827,877	他会計負担金	40,107
配水及び給水費	2,153,570	その他営業収益	1,036,090
業務費	1,281,751		
総係費	711,504	営業外収益	1,259,839
減価償却費	6,297,771	受取利息	603
資産減耗費	162,907	長期前受金戻入益	1,101,817
営業外費用	954,288	雑収益	157,419
支払利息及び 企業債取扱諸費	946,243		
雑支出	8,045		
当期純利益	3,417,254		
合 計	17,119,268	合 計	17,119,268

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(令和元年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	315,701,260	固 定 負 債	154,024,146
有形固定資産	312,044,638	企 業 債	148,140,763
無形固定資産	1,494,794	リ ー ス 債 務	246,546
投資その他の資産	2,161,828	引 当 金	5,636,837
流 動 資 産	15,590,867		
現 金 預 金	6,357,417	流 動 負 債	16,247,010
未 収 金	2,944,410	企 業 債	11,569,470
貯 蔵 品	498,607	リ ー ス 債 務	72,773
保管有価証券	200,000	未 払 金	2,227,233
仮 払 金	4,853	前 受 金	533,444
短期貸付金	3,000,000	預 り 金	1,644,090
前 払 金	2,585,580	預 り 有 価 証 券	200,000
その他流動資産	0		
		繰 延 収 益	41,063,188
		長 期 前 受 金	41,063,188
		資 本 金	105,253,232
		剰 余 金	14,704,551
		資 本 剰 余 金	3,153,964
		利 益 剰 余 金	11,550,587
合 計	331,292,127	合 計	331,292,127

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、2,531億5,588万円です。

備考 2 長期前受金収益化累計額は、494億9,102万円です。

備考 3 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(令和元年9月30日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	163,810,762	1,566,000	5,666,529	159,710,233
合 計	163,810,762	1,566,000	5,666,529	159,710,233

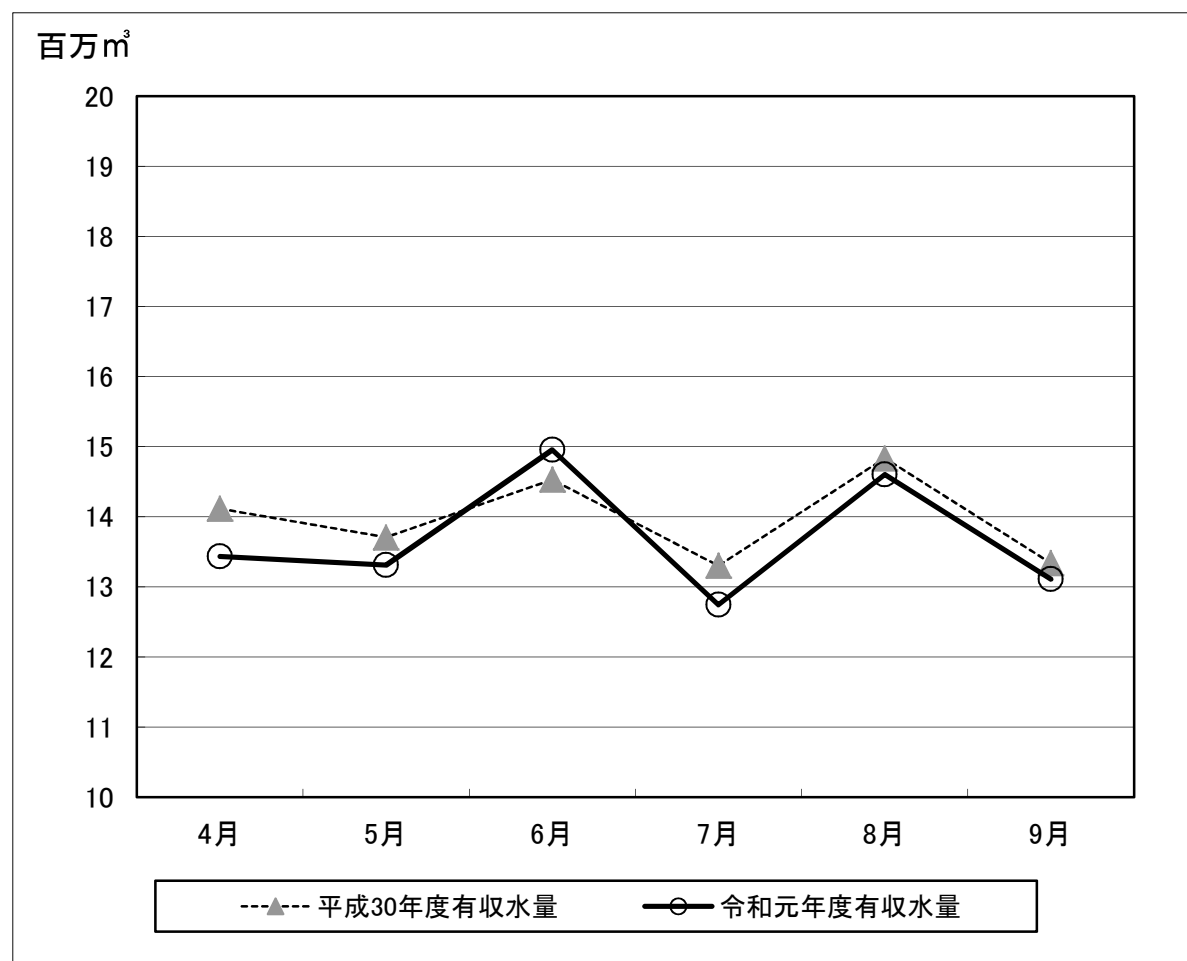
(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収水量

当期における有収水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収水量
平成	m ³
31年 4月	13,435,648
令和 元年 5月	13,312,681
〃 6月	14,954,560
〃 7月	12,746,286
〃 8月	14,603,372
〃 9月	13,110,450
合計	82,162,997
1日平均	448,978
前年同期1日平均	452,246



令和元年度前期京都市公共下水道事業業務状況

1 事業の概況

当期有収汚水量は、前年度同期（8,996万立方メートル）に比べ120万立方メートル（1.3パーセント）減少し、8,876万立方メートルとなりました。

当期下水道使用料は、前年度同期（118億5,794万円）に比べ2億1,362万円（1.8パーセント）減少し、116億4,432万円となりました。

また、当期総収益は、253億6,866万円となり、一方、当期総費用は、232億3,700万円となりました。

建設改良事業について、管きよでは、前年度に引き続き、伏見第3導水きよ、山科川13-1号雨水幹線、西部1号・2号分流幹線等を施工しています。また、終末処理場では、鳥羽水環境保全センターにおいて、前年度に引き続き、汚泥搬送設備整備工事等を施工するとともに、洗砂棟整備工事に着手しています。伏見水環境保全センターにおいては、前年度に引き続き、合流系最終ちんでん池整備工事等を施工するとともに、分流系最初ちんでん池整備工事に着手しています。

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成31年4月1日から令和元年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
公共下水道事業費用	23,236,997	公共下水道事業収益	25,368,655
事業費用	21,343,477	事業収益	21,597,123
下水道維持費	1,490,422	下水道使用料	11,644,317
下水処理費	5,217,959	他会計負担金	9,689,560
業務費	698,050	その他事業収益	263,246
水洗便所普及 対策費	113,857	事業外収益	3,771,532
総係費	416,457	受取利息	953
減価償却費	13,366,770	他会計負担金	38,042
資産減耗費	39,962	長期前受金 戻入金	3,711,916
事業外費用	1,893,520	雑収益	20,621
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,885,202		
雑支出	8,318		
当期純利益	2,131,658		
合 計	25,368,655	合 計	25,368,655

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 貸借対照表

(令和元年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	680,921,786	固 定 負 債	262,997,338
有形固定資産	674,576,477	企 業 債	256,449,297
無形固定資産	5,615,441	企 業 債 償 還 金	3,352,990
投 資 資 産	729,868	積 立 金	
その他の資産		リ ー ス 債 務	117,975
流 動 資 産	13,258,081	引 当 金	3,077,076
現 金 預 金	5,099,254	流 動 負 債	23,628,061
未 収 金	1,896,740	企 業 債	17,928,888
貯 蔵 品	11,754	企 業 債 償 還 金	1,260,900
保管有価証券	195,000	積 立 金	
仮 払 金	342,361	リ ー ス 債 務	24,390
短期貸付金	4,000,000	未 払 金	3,722,858
前 払 金	1,712,972	前 受 金	458,829
		預 り 金	37,196
		預り有価証券	195,000
		繰 延 収 益	160,295,038
		長期前受金	160,295,038
		資 本 金	228,922,693
		剰 余 金	18,336,737
		資本剰余金	8,309,864
		利益剰余金	10,026,873
合 計	694,179,867	合 計	694,179,867

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、7,063億2,208万円です。

備考 2 長期前受金の収益化累計額は、2,051億3,319万円です。

備考 3 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

(1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(令和元年9月30日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	263,594,105	151,000	7,154,827	256,590,278
資本費債 平準化債	22,445,332	0	43,535	22,401,797
合 計	286,039,437	151,000	7,198,362	278,992,075

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収汚水量

当期における有収汚水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収汚水量
平成	m ³
31年 4月	14,469,269
令和 元年 5月	14,575,615
〃 6月	15,940,005
〃 7月	14,010,483
〃 8月	15,623,905
〃 9月	14,148,382
合計	88,767,659
1日平均	485,069
前年同期1日平均	491,603

